

日本美容皮膚科学会会員各位

会員情報取り扱い不備による漏洩と不正使用について

平素より本学会の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る9月10日、第29回日本美容皮膚科学会総会・学術大会期間中に開催致しました平成23年度定例総会においてご報告致しました通り、送付物の手配にあたり外部に会員住所データを提供したところ、会員情報の一部が結果的に不正使用されたという事故が起きました。該当の会員各位には大変なご迷惑をお掛けいたしました。学会を代表してここにお詫び申し上げますとともに、経緯と今後の対応につきましてご報告申し上げます。

本年3月に本学会と日本臨床皮膚科医会とが共催で行ったアンケート調査の発送のため外部に提供した本学会会員住所データの使用後の処理に不備があり、5月に他の団体のセミナー案内が一部の会員(23名)に送付されていたことが、匿名会員からの問い合わせにより発覚致しました。本来、本学会では外部に会員データを提供することは致しておりませんが、他学会との共催事業という性質上、重複送付を避けるためデータによる確認を行った上で調査票の発送を行うこととし、理事会承認のもと特例的にデータの外部提供を行いました。データ提供先には厳重注意を行い、謝罪文の提出を受けております。

本学会と致しましては、今後も外部への会員データ提供は行わないことを原則と致しますが、今回のように特例的にデータ提供をもって郵便物等を会員に送る場合には、以下の方法をもって対応させていただきます。

- ・データ提供先に対して使用後のデータ処理の確認徹底を強く依頼すること
- ・データ提供が理事会承認された時点で予め学会ホームページで会員に事前告示し、送付拒否の申し出があればその会員を送付対象から除外すること

類似の事故を招かぬよう十分に留意して学会運営を行う所存でございますので、会員各位におかれましては引き続き本会の活動に積極的にご参加いただきますよう、何卒お願い申し上げます。

平成23年9月11日

日本美容皮膚科学会
理事長 古川福実

